

素案の一部訂正

52P

(1) 多様化する交通需要に対する都市交通の充実

第3段落目

今後、人口減少や高齢化の進行に伴い、DX (※) を取り入れることや市民の移動需要に応じた移動手段の確保が重要になることに加え、生活様式の多様化や新型コロナウイルスをふまえた生活行動・需要に対応するための都市交通施策を講じていくことが必要です。

※DX デジタル・トランスフォーメーションの略。進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること。

80P

●担い手不足解消に向けた自動運転バスなど新技術導入検討

交通事業者の人材不足は今後ますます深刻となることが予測されるため、自動運転バスなどの導入について検討を行います。

「栃木県ABCプロジェクト」(※)では、自治医大駅から自治医大病院間において、自動運転バスの実証実験が行われる計画となっています。自動運転の実装化に向けて支援していきます。

※栃木県ABCプロジェクト

栃木県では、自動運転システム (Autonomous) を導入した路線バス (Bus) の本格運行を目指した挑戦 (Challenge) を行っている。県内の路線において、令和7 (2025) 年度に自動運転バスが本格運行し、多くの方に利用してもらえるよう、令和2 (2020) 年度～令和5 (2023) 年度の間で、自動運転バスの実証実験を進めている。

87P

●観光サイクルネットワークの形成 (観光拠点周遊など)

自転車に乗ることそのものを楽しむ、あるいは自転車で地域を巡り、沿線の魅力を楽しむ体験型・交流型旅行を促進するため、歴史遺産などの観光交

流拠点の周遊を図る観光サイクルネットワークの形成を検討します。

栃木県が推進するサイクルツーリズムでは、本市は県東地域と県南地域の両サイクルツーリズムのルートに入っているため、栃木県と連携のうえその推進に取り組みます。

イメージ図を栃木県の事例に差し替えます。

101P

●低公害車の普及促進：庁用車の調達促進など

コンパクトプラスネットワークの形成とあわせ、・・・・低公害車への切り替えを推進します。また、市内での低公害車普及について啓発をしていきます。

写真の説明 <本市で導入した電気自動車>

今後も、文章表現上修正したほうがよい部分が出てくるのが想定されますので、趣旨が変わらない範囲で、策定までに修正していきます。また、市都市計画審議会や市議会への説明のなかで、修正となる部分も想定されます。